

様式第1 (第3条関係) (表面)

提出年月日を記入する。

~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書~~

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 一宮市長

工場長等の代表権を有しない者が届出者となる場合、代表者の委任状が必要。

住所 一宮市××町1-23-45

氏名又は名称 〇〇株式会社

届出者

法人にあつて 代表取締役 一宮 太郎
は代表者氏名

~~水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。~~

| | | | | |
|----------------------|-----------------------------|---|--------|-------|
| 工場又は事業場の名称 | | 〇〇株式会社 △△第一事業場 | ※整理番号 | |
| 工場又は事業場の所在地 | | 〒〇〇〇-〇〇〇〇 一宮市××町1-23-45 | ※受理年月日 | 年 月 日 |
| 第5条第1項関係 | 特定施設の種類の種類 | | ※施設番号 | |
| | 有害物質使用特定施設の該当の有無 | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> | ※審査結果 | |
| | △特定施設の構造 | 別紙1のとおり。 | ※備考 | |
| | △特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。) | 別紙1の2のとおり。 | | |
| | △特定施設の使用の方法 | 別紙2のとおり。 | | |
| | △汚水等の処理の方法 | 別紙3のとおり。 | | |
| | △排出水の汚染状態及び量 | 別紙4のとおり。 | | |
| | △排出水の排水系統別の汚染状態及び量 | 別紙5のとおり。 | | |
| △排出水に係る用水及び排水の系統 | 別紙6のとおり。 | | | |
| 第5条第2項関係 | 有害物質使用特定施設の種類の種類 | | | |
| | △有害物質使用特定施設の構造 | 別紙7のとおり。 | | |
| | △有害物質使用特定施設の使用の方法 | 別紙8のとおり。 | | |
| | △汚水等の処理の方法 | 別紙9のとおり。 | | |
| | △特定地下浸透水の浸透の方法 | 別紙10のとおり。 | | |
| △特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統 | 別紙11のとおり。 | | | |

様式第1 (裏面)

| | | | | |
|----------|---|---|--|--|
| 第5条第3項関係 | 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設 | | |
| | △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造 | 別紙12のとおり。 | | |
| | △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備 | 別紙13のとおり。 | | |
| | △有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法 | 別紙14のとおり。 | | |
| | △施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統 | 別紙15のとおり。 | | |

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造

| | | |
|--------------------------|---------------------------------------|---|
| 工場又は事業場における施設番号 | 66-③ | 工場において使っている番号等があれば、記入する。 |
| 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 | 有害物質使用特定施設 (66 電気めっき施設) | 参考として、特定施設の種類も記入する。 |
| 型 式 | 全自動バレル回転式 (△△△社製 ZB-A1) | |
| 構 造 | 鉄製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料〇のとおり) | 有害物質使用特定施設の構造図を添付する。 |
| 主 要 寸 法 | ・装置全体で 1m×10m×1.5m (各槽の寸法は資料〇のとおり) | 有害物質使用特定施設の構造図を添付する。 |
| 能 力 | ねじ 5,000個/日 | ・地下に設置されている場合には、その旨記入する ・「工場全体の配置図」と「有害物質使用特定施設及び関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付する。 |
| 配 置 | めっき工場棟1階 (配置は資料〇のとおり) | |
| 床 面 及 び 周 囲 | 床面は厚さ100mmのコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止 | |
| 設 置 年 月 日 | 年 月 日 | 法第6条に基づく使用届の場合のみ記入する(以下同様)。 |
| 工事着手予定年月日 | 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 | 年 月 日 |
| 工事完成予定年月日 | 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 | 年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 | 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 | 年 月 日 |
| その他参考となるべき事項 | 施設担当者：一宮次郎 主要製品： 自動車バルブ部品など | ①当該施設の担当者名 ②主要製品 など、 参考になるべき事項を記入する。 |

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の設備

| | | |
|--------------------------|--|---|
| 工場又は事業場における施設番号 | 66-③ | |
| 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 | 有害物質使用特定施設 | |
| 設備 | 地上配管、排水溝、ためます | 配管については、地下配管(トレンチ)、地下配管(埋設)などのケースも考えられる。トレンチの場合はトレンチの構造についても記入すること。 |
| 構造 | 配管：ステンレス製 排水溝、ためます ：コンクリート製、厚さ50mm | |
| 主要寸法 | 配管：直径100mm×30m 排水溝 ：幅300mm×深さ200mm×10m ためます ：500mm×500mm×400mm (途中で65-②及び66-①の排水溝と合流) | |
| 配置 | めっき工場棟1階 (配置は資料〇のとおり) | |
| 設置年月日 | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 工事着手予定年月日 | 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 | 年 月 日 |
| 工事完成予定年月日 | 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 | 年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 | 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 | 年 月 日 |
| その他参考となるべき事項 | | |

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記入すること
「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記入すること

「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記入すること
「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記入するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。

有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記入すること。

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の使用の方法

| | | |
|---|---|---|
| 工場又は事業場における施設番号 | 66-③ | |
| 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 | 有害物質使用特定施設 | 工場全体の配置図を添付し、有害物質使用特定施設の設置場所を明示する。 |
| 設置場所 | 別紙配置図のとおり | 原料から製品までの製造工程のフローシートを添付し、工程における特定施設を他の施設と区分する。 |
| 操業の系統 | 別紙のとおり | |
| 使用時間間隔 | 10時～16時 | |
| 1日当たりの使用時間 | 6時間 | |
| 使用の季節的変動 | 6月中旬～7月中旬 100%稼働 12月中旬～1月中旬 30%稼働 その他 70%稼働 | |
| 原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。) | <前処理工程> 〇〇 <めっき工程> □□ | 特定施設を含む作業工程で実際に使用している全ての原材料等について記入する。 欄内に記入できない場合には、別紙に記入する。 |
| 貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。) | | |
| その他参考となるべき事項 | | |

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

届出様式においては義務とはなっていないが、管理要領、点検頻度、同等以上の点検の内容などについて、必要に応じて添付することが望ましい。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

| | | | |
|---|---|-------------|--------------------|
| <p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p> | <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[工業用水 210m³/日] --> B[焼入れ工程] A --> C[亜鉛めっき工程] A --> D[銅・ニッケルクロムめっき工程] A --> E[塗装工程] A --> F[研磨工程] B --> G[総合処理施設 210m³/日] C --> G D --> G E --> G F --> G G --> H[下水] </pre> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; color: red;"> <p>※上記のようなフロー図のほか、有害物質を含む水については、どのような設備（配管、排水溝）を通っているかが分かるよう、図面等を活用し、わかりやすく作成したものを添付すること。（有害物質が流れない雨水、生活排水等の系統については、記入は不要。） 【別添有害物質に係るフロー図参照】</p> </div> | | |
| <p>用途別用水使用量</p> | <p>用途</p> | <p>使用水</p> | <p>用水使用量(m³/日)</p> |
| | <p>めっき等工程</p> | <p>工業用水</p> | <p>210</p> |
| | <p> </p> | <p> </p> | <p> </p> |
| | <p> </p> | <p> </p> | <p> </p> |
| | <p> </p> | <p> </p> | <p> </p> |
| | <p> </p> | <p> </p> | <p> </p> |

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

工場・事業場の概要

| | | | |
|----------------|-------------------|-------------------|---------------------------|
| 工場・事業場の名称 | 〇〇株式会社 △△第一事業場 | 工場・事業場の所在地 | 一宮市××町 1-23-45 |
| 創業年月日 | 昭和56年4月1日 | 資本金 | 8,000万円 |
| 従業員数 | 200人 | 公害関係担当者 氏名 | 一宮 次郎 電話〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇 |
| 主な生産品 (月産別) | 自動車部品 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 3113 |

〈工場付近の略図〉

工場・事業場付近の略図を記載する。
最寄りの駅など目印となる建物等を
記入すること。

有害物質に係るフロー図

この記入例は模式案であるため、実際の記入においては、図面等を活用し、わかりやすく作成すること。

